

電子船荷証券 (eBL) のご案内

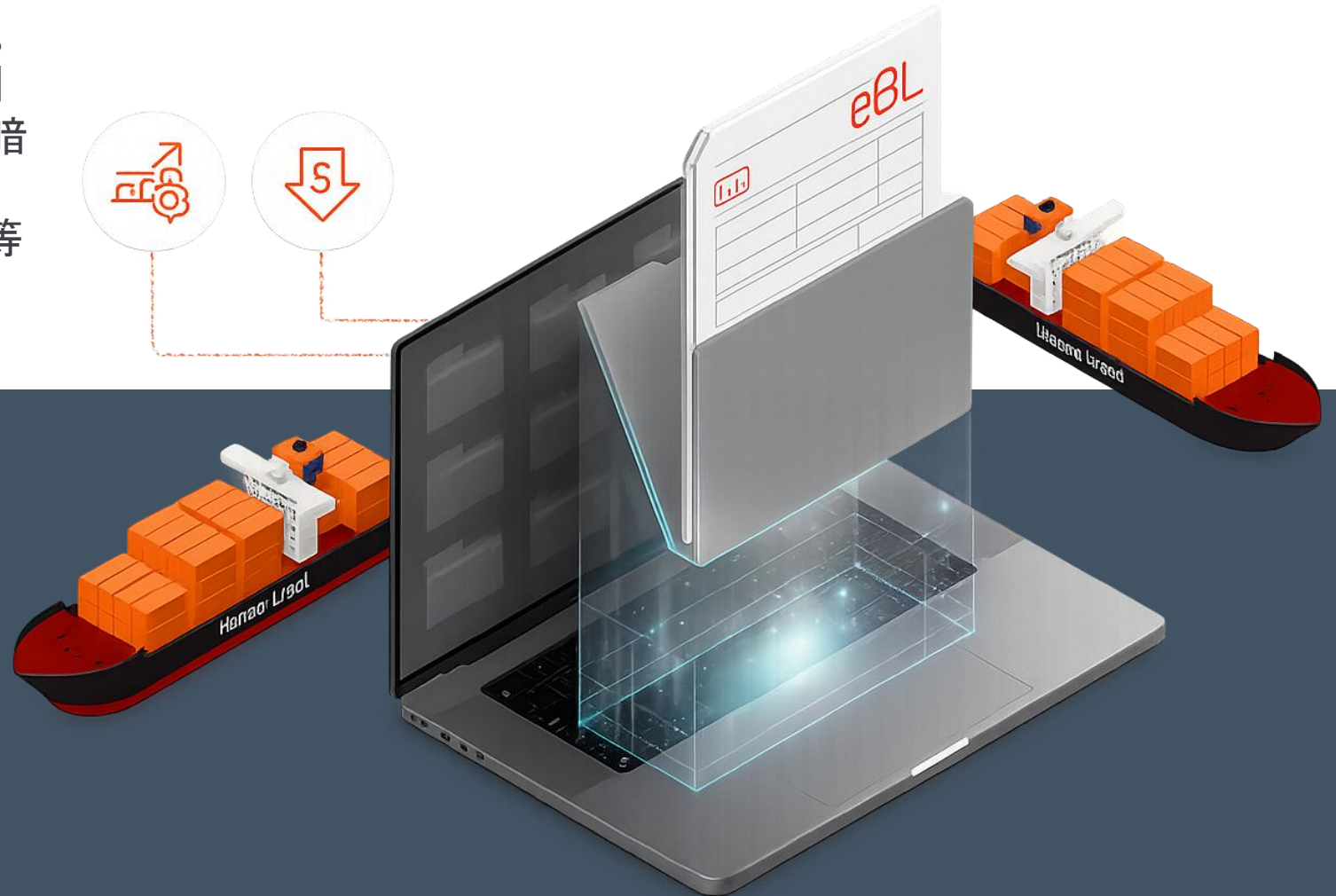
Electronic Bill of Lading

Goodbye Paper –
Hello, Digital!



Electronic Bill of Lading / 電子船荷証券(eBL)

電子船荷証券(eBL)に切り替えて、より効率的な貨物書類の管理を実現しましょう。紙からデジタルへ移行することでコスト削減になるだけでなく、書類の即時処理や暗号化によるセキュリティ強化も可能になります。しかも、従来の紙の船荷証券と同等の法的効力があります！



eBLとは何ですか？

電子船荷証券(eBL)は、従来の紙の船荷証券をデジタル化したもので、貨物情報の管理、出発地と到着地の追跡、取引の真正性確認をより安全かつ効率的、そして環境に優しい方法で行えるツールです。

なぜ紙の船荷証券(BL)から電子船荷証券(eBL)に切り替えるべきか？

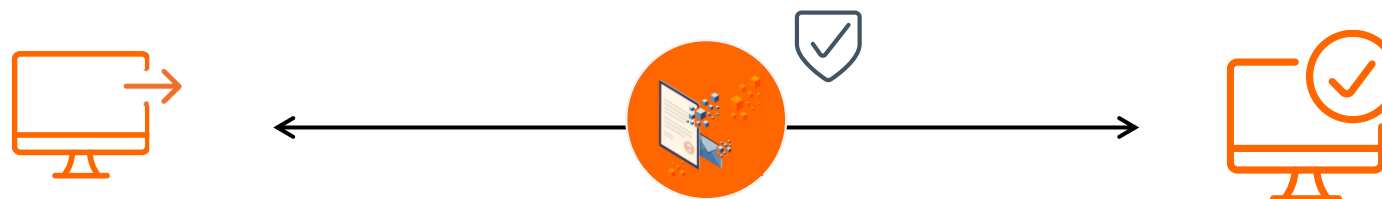
紙の書類を物理的に取り扱うことは、手続きが煩雑で時代遅れになりやすく、時間がかかるうえにミスも起こりやすい原因になります。だからこそハパックロイドは、紙を一切使わずに重要な貿易書類をデジタルで交換できるサービス—電子船荷証券(eBL)—のご利用をぜひご検討いただきたく、ご案内します。

ご存知ですか？
! 電子船荷証券(eBL)は、最終的な荷受人(コンサイニ)が不確定な場合に特に有効で、紙の書類を使わずに所有権をスムーズかつ迅速に移転できます。

Traditional process



New process



安全なブロックチェーン技術

そして現実にはさらに複雑です

- ✓ 即時の所有権移転
- ✓ 強化されたセキュリティ
- ✓ リアルタイム追跡
- ✓ アクセスの容易さ
- ✓ 煩わしさのない調整 (手続きの簡素化)

一目で分かる電子船荷証券(eBL)のメリット



あらゆる面でコストを節約

印刷、宅配、保管にかかる費用を削減すると同時に、紙の船荷証券よりも環境に優しい選択です。



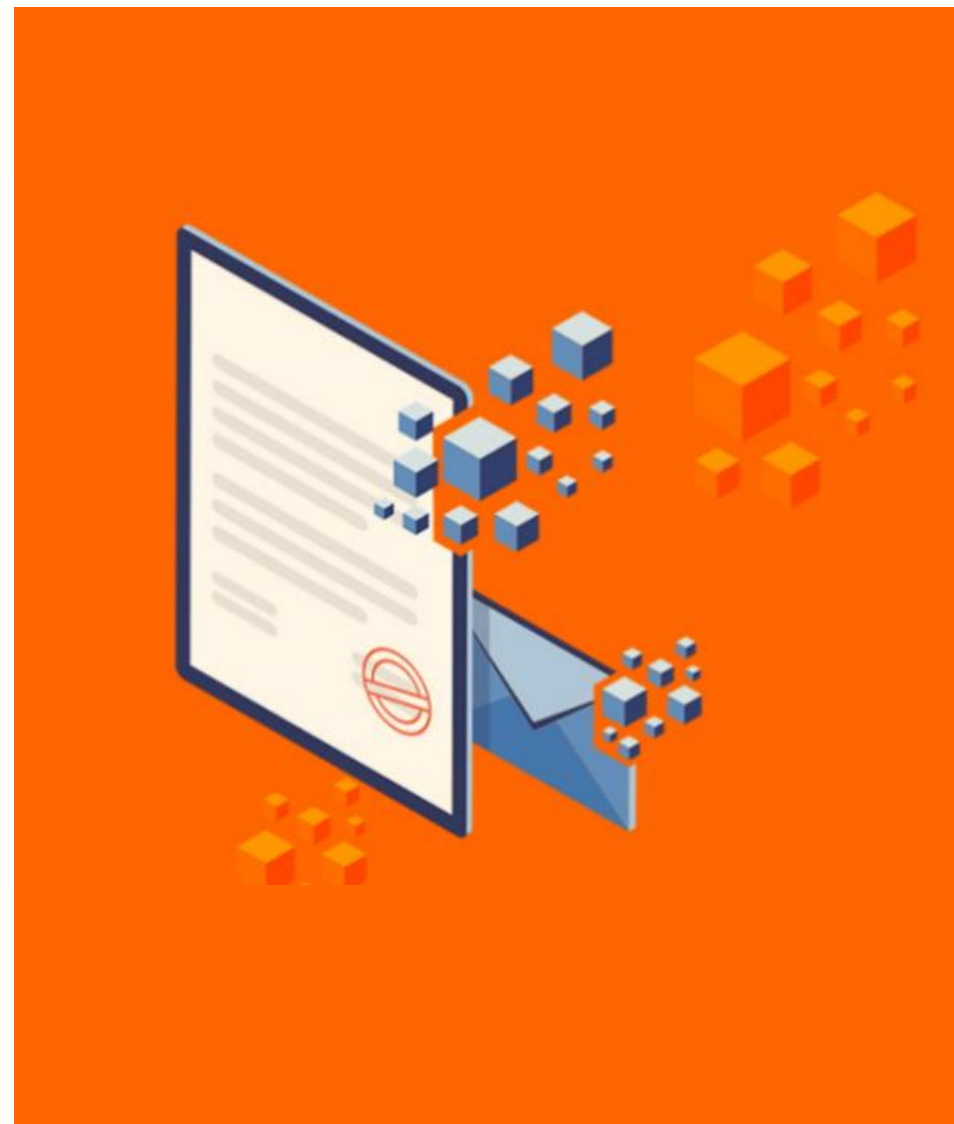
日々の業務効率を向上

船荷証券(BL)の管理を、書類の即時作成・アクセス・譲渡によって可能にし、より簡単にします。ボタンをクリックするだけで訂正(アmend)や所有権移転を簡単に依頼でき、荷受人(コンサイニー)情報の変更や書類修正などの変化にも柔軟に対応できます。



セキュリティを強化

ブロックチェーン技術により書類は不正や偽造から守られます。同時に、電子船荷証券(eBL)は紙の船荷証券と同等の法的効力を有します。



脱炭素化の実現：eBLがどのように貢献できるか

紙の船荷証券の隠れたコスト

紙の船荷証券(BL)を印刷し、配送し、再印刷するたびに、環境負荷が発生します：

- 一般的に1通の船荷証券(BL)は通常3～4枚の用紙を使用します。
- 10万通の船荷証券(BL)で約35万枚の用紙に相当します。これは年間で約44本の木が伐採される量に相当し、紙の生産や宅配に伴って350万リットル以上の水が消費され、大量のCO2排出も発生します。

eBLの利点

電子船荷証券(eBL)を導入することで、すぐに次の点に貢献できます：

- 紙ゼロ — 木を伐採せず、水の無駄遣いを防ぎます。
- 宅配輸送ゼロ — 輸送距離の削減によりCO2排出を低減します。
- 持続可能なビジネス評価 — 企業のESGおよびグリーンなサプライチェーン目標を支援します。



私たちの約束

私たちは、発行される電子船荷証券(eBL)ひとつひとつが、より環境に優しいグローバル貿易への一歩だと信じています。eBLに切り替えることで、コスト削減や時間短縮が図れるだけでなく、将来の世代のために地球を守る取り組みにご参加いただくことになります。私たちとともに、2045年までのネットゼロ排出達成を目指すこの道のりに参加してください。

Find out more about
how Hapag-Lloyd delivers
decarbonization



ペーパーレス輸送： 持続可能な未来への私たちの約束



私たちは昨年よりお客様に電子船荷証券(eBL)を提供しており、すべての関係者にとって書類処理を簡素化・効率化するとともに、カーボンフットプリントの削減を図っています。お客様からの反応は非常に好評です。2030年までにeBLを100%にするという目標は、グローバルサプライチェーンのデジタル化において重要な位置を占めており、それを実現するには業界全体の協力が必要です。

Rolf Habben Jansen

CEO of Hapag-Lloyd



世界クラスのeBLソリューションプロバイダーから3社を選択



OPTION 1:

- 確かな基盤に基づき、実証済みの市場リーダーシップによって推進されています
- 複数の主要キャリアや世界の上位50社のフォワーダーのうち30社以上から信頼される広範なネットワーク
- プラットフォーム間の相互運用性により、クロスプラットフォームでのeBLフローが可能
- 取扱量に応じた料金設定が利用可能



OPTION 2:

- 追加費用なし:コストに敏感なビジネス構成に最適
- クロスプラットフォームでのeBL交換を可能にする相互運用フレームワーク
- トレードファイナンスおよびロジスティクスシステムとの統合に適している
- シームレスなモバイルアクセス
- ODex(ODEX)システムとの接続



OPTION 3:

- 17,000のロジスティクス事業者が193か国でつながるコネクテッドネットワークの一部
- FIATA、ICC、BIMCO、SWIFT、FIT Allianceと完全に整合
- CargoWiseおよびINTTRAとの直接統合
- CargoWiseまたはINTTRAの顧客には追加のeBL手数料なし

その他の ハイライト

提携銀行

- 主要な国際銀行および地域銀行によるトレードファイナンスフローで利用されています
- キャリア発行のeBLプロセスを通じて銀行との連携をサポートします

- アジアおよび国際的な銀行との強い連携体制
- 銀行主導のトレードファイナンスやドキュメンタリー取引プロセスで頻繁に利用されています

- HSBC、Societe Generale、Standard Chartered、UBS などを含む40行超の国際トレードファイナンス銀行と接続・稼働中
- 銀行主導のトレードファイナンスやドキュメンタリー取引プロセスで頻繁に利用されています

共通の メリット

クラウドベースのプラットフォーム ✓

IG P&I クラブ承認の eBL フレームワーク✓

ERPシステムとの統合✓

使いやすいユーザーインターフェース✓

シンプルで案内付きのオンボーディングプロセス ✓

DCSA標準への統合(対応)をサポート ✓

eBL(電子B/L) vs 紙B/L、Sea Waybill、Telex Release(テレックス・リリース)

01 コスト/費用

02 環境への影響

03 所有権の移転

04 処理スピード

05 セキュリティ/安全性

06 紛失や遅延のリスク

07 ユースケース

eBL	Paper BL	Seaway Bill	Telex
✔ 低い可能性、\$0*	✖ 高い：B/L 1通あたり \$30～\$100（印刷、クーリエ、遅延等のコストが発生）	低い：\$0（印刷や物理書類送付が不要）	中程度：\$0 だが手作業コストが発生（クーリエ費用は削減できるが、テレックス通信等の手数料が発生する可能性）
ゼロ（ペーパーレス）	高い（大量の紙を使用）	ゼロ（ペーパーレス）	高い（大量の紙を使用）
✔ 可能：電子的に第三者へ譲渡（移転）できる	✔ 可能：裏書および原本（現物）の引渡しにより移転	不可：所有権は移転しない（記名荷受人に引き渡される）	不可：所有権は移転しない（原本書類が回収・提出された後、港へ貨物引渡し指示が出される）
✔ 速い（リアルタイム更新・移転が可能）	✖ 遅い（書類の物理的取扱いが必要）	速い（原本が不要）	中程度（オリジナル書類を仕出地で回収・提出する必要）
✔ 高い（暗号化・認証技術により不正防止）	✖ 中（紛失・盗難・偽造のリスク）	中（荷主と荷受人の信頼関係に依存）	中（仕出地での原本回収・提出に依存）
✔ 最小（物理書類がない）	✖ 高い（輸送中に紛失・遅延し得る）	低い／最小（オリジナル発行なし）	低いが遅延の可能性あり（原本提出が遅れると遅延が発生）
迅速・安全・ペーパーレス取引を求める当事者に適する	仕出地／仕向地の国、または関与銀行が eBL に未対応の場合のみ	荷主と荷受人の信頼関係が高い場合のみ	船出後に OBL（Original B/L）からペーパーレスへ切替が必要な場合のみ

*実際の費用は契約・プロバイダー・手続き条件により変動し得ます。

eBLの活用可能性とユースケース

従来の手続きフロー

- 1 Straight Bill (直送状)**
荷送人は、原本の紙の船荷証券(BL)を明記された受取人(コンシニー)へ宅配便等で送付します。受取人は到着地で(多くの場合宅配便を通じて)その船荷証券を運送会社に引き渡します。
- 2 テレックスリリース／到着地での印刷(揚げ地発行)**
荷送人は出発地で原本の船荷証券(BL)を運送会社に引き渡し、速やかな引渡し(エクスプレスリリース)を依頼するか、荷送人が運送会社に対して原本を受取人へリリースするよう要請します。
- 3 訂正(修正)**
原本の発行に変更や誤りがある場合は、運送会社へ差し戻して訂正・再発行を行う必要があります。
- 4 To Order Bills (指図式船荷証券)**
予約時点で受取人が確定しておらず、受取人が何度も変更される可能性がある場合に、原本の船荷証券を移転(譲渡)する手続きです。

eBLを使用した新しいプロセス

eBL を電子的に受領・譲渡・返却することで、宅配便に依存して受け取り・配達を待つ必要をなくします。

電子的に受領・返却を行い、完全な管理下で追加の手順や不透明なプロセスを回避します。

修正を依頼し、再発行された電子船荷証券(eBL)を選択したプラットフォーム内で直接受け取ります。

電子船荷証券(eBL)を電子的に受領、裏書、譲渡し、eBLの最終受領者はプラットフォーム内で運送会社へ返却(サレンダー)できます。



今後のステップ — 利用開始方法

- 01 シッピングインストラクション (Shipping Instructions) には、本船貨物引換証 (Sea Waybill)、オリジナル船荷証券 (OBL)、または電子船荷証券 (eBL) のいずれを本輸送に使用するかを明記してください。
- 02 IQAX、WaveBL、またはGalileoの各ウェブサイトから直接登録できます。詳細は[こちら](#)をご確認ください。
- 03 シッピングインストラクションを提出する際に、書類の種類として「eBL」を選択し、ご希望のeBLプロバイダーを選んでください。



取引先を招待してeBLを使い始めましょう

Start your eBL journey



eBL — よくある質問(FAQ)

01 eBLとは何ですか？

eBL(電子船荷証券)は、従来の紙の船荷証券をデジタル化したものです。輸送契約の証拠、貨物受領の証明、ならびに貨物の所有権を示す書類としての役割を果たします。

02 eBLはどのように使えますか？

荷送人と受取人(コンシニー)は、IQAX、WaveBL、またはGalileo のいずれかのプラットフォームに登録してください。出荷指示の提出時に「eBL」と利用するプラットフォーム名を明記します。船舶が出港した後、指定したプラットフォームで eBL を受け取れます。訂正が必要な場合は「Surrender for amendment(訂正のための返却)」を選択して修正を依頼できます。所持権はボタン操作で受取人へ譲渡できます。荷送人または受取人は、プラットフォーム内から直接当社へサレンダー(返却)することも可能です。

03 eBLで使用される書類タイプは何ですか？

eBLは「電子版のオリジナル船荷証券(Original Bill of Lading)」に該当するため、書類タイプは従来通り MBL/OBL (Master Bill of Lading / Original Bill of Lading)となります。

04 IQAX、WaveBL、Galileoはどの程度安全ですか？

いずれのeBLプロバイダーも、改ざん防止の取引記録を実現する分散型ブロックチェーン技術、不正を防ぐ暗号技術、機密性を確保するプライバシー保護レイヤーなどの高度な対策により、セキュリティを最優先しています。さらに、不正アクセスを防ぐための安全なID管理、書類のウイルススキャン、高信頼なインフラ上でのレート制限(アクセス制御)などの機能も備えており、ユーザーとデータを強固に保護します。

05 確認後、eBLがダウンロード可能になるまでの時間はどれくらいですか？

確認後、最長でも8分以内にeBLが利用可能になります。

06 eBLのステータスは船積みの過程で追跡できますか？

はい。eBLのステータスは随時確認でき、出荷プロセス全体にわたってリアルタイムの更新情報にアクセスできます。



[More FAQs](#)





**Thank you
for your
attention**

Felipe Machado,
Product Owner
Web Documentation

Your cargo, our promise.